

1. 科目名 (単位数)	教育相談 (カウンセリングを含む) (初等・小) (2 単位)		3. 科目番号	EDTE3106
2. 授業担当教員	財満 鎮人			
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	教育相談とは、幼稚園・小学校や中学校・高等学校など教育現場において、幼児・児童・生徒のこのころの問題を扱うだけでなく、幼児・児童・生徒を取り巻く家族や友人状況、地域・家庭の教育力の低下等、家庭や社会環境の変化なども考慮しながら進められていく、教育現場における心理的な支援活動である。本授業では、教師あるいはスクールカウンセラーが行う教育相談活動について、幼児・児童・生徒を理解するために必要な知識や方法およびカウンセリングを含めた実際の介入方法などについて、知識を深めロールプレイや討論も交えながら実践力を身につけることを目的とする。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.教育相談の意義と目的、内容と領域について理解し、説明することができるようになる。 2.教育現場における教育相談の基本的視点、展開の方法について理解し、説明や討論(事例検討も含める)をすることができるようになる。 3.教育相談を効果的に展開するため、枠組みとなる代表的なカウンセリングの理論と技術について理解し、説明やロールプレイをすることができるようになる。 4.教育相談の治療的、予防的、開発的側面や現代の諸課題について理解し、説明や討論をすることができるようになる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講義前には必ず該当部分に目を通し、疑問点を明確にしてくる。 ・2回レポートを提出する(A4用紙2枚、2,400字以上)。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの心の問題と対応 子どもの心の問題は様々であるが、いじめ、不登校、摂食障害、自傷行為、虐待、非行の中から一つを取り上げ、教科書だけでなく、複数の参考書で調べ、それがどのような問題か説明し、対応はどうかを述べるとともに、自分が疑問に思ったことや、意見を書きなさい。 2. 小学生の発達障害の問題と対応 発達障害の問題はどの年齢にも必ずあるが、小学生に限定して論じなさい。発達障害には、高機能自閉症、アスペルガー障害、学習障害、注意欠陥多動性障害があるが、この中から一つを取り上げ、教科書だけでなく、複数の参考書で調べ、それがどのような問題か説明し、対応はどうかを述べるとともに、自分が疑問に思ったことや、意見を書きなさい。 			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 春日井敏之・伊藤美奈子『よくわかる教育相談』ミネルヴァ書房。 ※必要に応じて授業内でプリントを配布する。</p> <p>【参考書】 石隈利紀・藤井英行・田中輝美『生涯発達の中のカウンセリングⅡ』サイエンス社。 文部科学省『生徒指導提要』教育図書。</p>			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の意義と理論を理解し、説明できるか。 2. カウンセリングに関する基礎的・基本的事項を理解し、説明やロールプレイをすることができるか。 3. 教育相談の具体的な進め方やポイントを理解し、組織的な取り組みや他機関との連携の必要性、現代の課題を把握して説明や討論(事例検討も含める)をすることができるか。 <p>○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の学習状況、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.積極的参加(発言、討議、態度、シートの取り組み等) 総合点の50% 2.レポート(小論文、中間レポートを含む) 総合点の50% <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>			
12. 受講生への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、いじめ、不登校、発達障害などの問題に出会わない教師はいない。教育相談は、そのような特定の問題に対するときのノウハウを提供し、日常の教育活動にも活かすことができるものである。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言すること。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないようにすること。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為(携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等)をしないこと。 			
13. オフィスアワー	原則週に2コマを第1回の講義の際に指示をする。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション、教師に求められるカウンセリングマインドについて ーカウンセリング演習 傾聴・繰り返しー	事前学習	教育相談の「意義」と「目的」について、自分なりの考えを持って講義に臨む。	
		事後学習	授業内容について理解したことをワークシートにまとめファイリングする。	
第2回	受容(共感)と指導(要求)、生徒指導と教育相談など ーカウンセリング演習 傾聴・繰り返しー	事前学習	教科書の pp.10～19 を熟読し、授業に生かす臨床的視点 p.18 の事例について予習をする。	
		事後学習	授業内容を復習し、子どもの心を聴くことの意味と意義を理解したことをワークシートにまとめファイリングする。	

第3回	子どもの発達課題と教育相談 －カウンセリング演習 明確化－	事前学習	教科書の pp.22～35 子どもの発達と教育相談を熟読し、学童期の発達と教育相談について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、子どもの発達に合わせた教育相談について理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第4回	学校現場における「問題行動」と教育相談 ①不登校、いじめなど －事例によるカウンセリング演習 明確化 児童との面接（不登校傾向）－	事前学習	教科書の pp.42～47 学校現場における「問題行動」と教育相談を熟読し、不登校、いじめの指導・支援について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、不登校、いじめなどの問題行動のとらえ方と支援の視点などを理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第5回	学校現場における「問題行動」と教育相談 ②万引き、虐待など －事例によるカウンセリング演習 沈黙の処理 児童との面接（虐待）－	事前学習	教科書の pp.48～57 学校現場における「問題行動」と教育相談を熟読し、万引き、虐待の指導・支援について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、万引き、虐待などの問題行動のとらえ方と支援の視点などを理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第6回	特別支援教育と教育相談①発達障害とは －事例によるカウンセリング演習 保護者との面接（ADHD）－	事前学習	教科書の pp.62～69 特別支援教育と教育相談を熟読し、発達障害のとらえ方と対応について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、特別支援教育の基本的な考え方や発達障害を理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第7回	特別支援教育と教育相談②発達障害へのかかわりと組織的な取り組み －校内委員会の模擬演習－	事前学習	教科書の pp.70～81 特別支援教育と教育相談を熟読し、気になる子どもへのかかわりと学級の取り組みについて予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、特別支援教育コーディネーターの意義と役割、校内委員会の実際について理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第8回	予防・開発的取り組みと教育相談①構成的グループ・エンカウンター、ブリーフ・カウンセリングなど	事前学習	教科書の pp.82～87 予防・開発的取り組みと教育相談を熟読し、問題解決から予防・開発的な教育相談について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、さまざまな教育相談にかかわる技法を理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第9回	予防・開発的取り組みと教育相談②アサーション・トレーニング、交流分析、ピアサポートなど	事前学習	教科書の pp.88～97 予防・開発的取り組みと教育相談を熟読し、アサーション・トレーニングについて予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、交流分析、ピアサポートなどを理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第10回	教師への支援と教育相談 －事例によるカウンセリング演習 教師との面接（悩む学級担任）－	事前学習	教科書の pp.102～121 教師への支援と教育相談を熟読し、教師支援の必要性について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、教師へのメンタルヘルスを理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第11回	保護者への支援と教育相談 －事例によるカウンセリング演習 保護者との面接（子育て不安）－	事前学習	教科書の pp.122～141 保護者の支援と教育相談を熟読し、モンスタースタイルペアレント、若い保護者の子育て不安への支援について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、親が抱えている問題への対応を理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第12回	校内の相談システムと教育相談（チーム学校としてのチーム支援） －チーム支援の模擬演習－	事前学習	教科書の pp.142～159 校内の相談システムと教育相談を熟読し、ネットワーク支援について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、チーム学校としてチーム支援のシステムを理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第13回	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと教育相談 －実際に活用する模擬演習－	事前学習	教科書の pp.162～181 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと教育相談を熟読し、学校で役立つスクールカウンセラー（SC）の条件について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの役割と活用の実際を理解したことをワークシートにまとめファイリングする。
第14回	専門機関との支援ネットワークと教育相談 －事例によるカウンセリング演習 保護者との面接（医療受診）－	事前学習	教科書の pp.182～201 専門機関とのネットワークと教育相談について熟読し、医療機関との連携について予習をする。
		事後学習	授業内容を復習し、教育福祉医療及びそのたの機関との連携を理解しワークシートにまとめファイリングする。
第15回	授業のまとめ グループワーク（発表）	事前学習	第14回までの授業で、教育相談について自分が理解した内容を整理しておく。
		事後学習	授業全体をふり返り、講義内容の理解を確認したことをワークシートにまとめファイリングする。